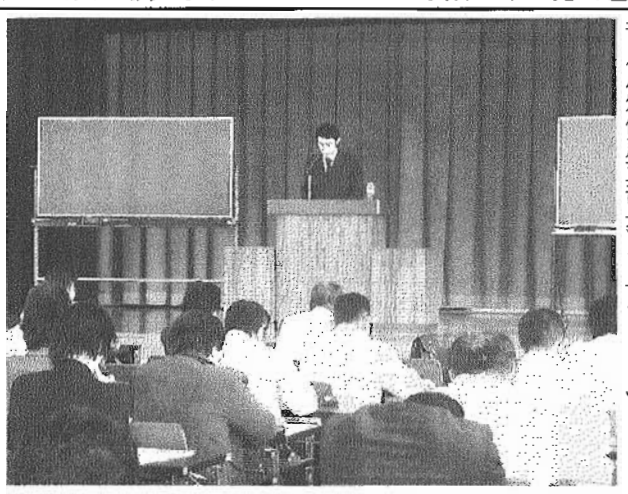
県建設業協会鹿児島支部

CORINS説明会

対象拡大に対応を



改正事項を解説するJACIC職員
＝鹿児島市の県建設センターで

県建設業協会鹿児島支部（川畑俊彦支部長）は17日、鹿児島市の県建設センターで、CORINS「工事実績情報サービス」説明会を開催した。CORINSの対象工事拡大に伴い、鹿児島市が今月21日以降発注の請負契約500万円以上の全工事にCORINS登録を義務付けることから、会員事業所への周知徹底を図るために開かれたもの。

説明会冒頭、川畑会長が「全会員が戸惑うことなく、1社でも取り残されることのないよう、現況を把握して頂きたい」と挨拶。末吉晴海総務委員長も、内容を十分に習得するよう要請した。また、鹿児島市の瀬戸口正行契約課長は、市としてのCORINSへの取り組みを述べた。

このあと、(財)日本建設情報総合センターの桃坂繁九州地方センター長らがCORINSの動向、対象工事拡大と運用、登録手続きなどを詳しく説明した。

建災防出水分会災防大会

原点に返り無災害誓う

建災防県支部出水分会（桑木行喜分会長）は17日、出水市の出水建設会館で平成15年労働災害防止大会を開き、原点に立ち返り、事故撲滅に向け、無災害誓う。

大会に先立ち同所で行われた安全祈願祭では、箱崎八幡神社の神官にお祓いを受け、桑木分会長が安全の誓いを読み上げ、玉串を奉てんして1年の安全を祈願した。

災防大会では、物故者への黙とう、県支部長と分会長表彰の後、桑木分会長が「昨年までの大会では、おかげさまで重大災害ゼロでしたと報告していたが、残念ながら昨年末に、県内3件目の死亡事故が当分会で発生しました。建設業にはアゲンストの風が吹いている中、事故が発生すると企業生命も危うくなる。本日を契機に、原点に立ち返り無災害誓い」と呼びかけ、八木純一郎県支部事務局長は川畑俊彦県支部長の挨拶を代読。

分会長表彰も行われた災防大会
＝出水市の出水建設会館で

長や渋谷俊彦出水市長、濵田行弘出水土木事務所長が「発生した事故を分析してみると基本的なことが欠如している」「安全施工に努めて各位が発展されることを祈念します」「不安材料ばかりの中、技術と経営力に優れた企業が生き残れる」と祝辞を寄せ、門田孝一副分会長が「労働・交通災害絶滅へ向け、安全衛生教育などを推進し、快適な職場づくりにまい進する」と大会宣言を行い、古家康博副分会長の閉会の言葉で大会を終えた。

分会長表彰は次の通り。

事業場の部＝阿久根建設㈱　㈱田頭建設　㈲若松組　沢井建設㈱出水支店　㈲築地建設▽個人の部＝富山原吉（野村建設工業㈱）木下富雄（㈱福井組）連尺野一雄（㈲特

瀬戸内建設業協会災防大会

現場安全を一層徹底

瀬戸内建設業協会（伊東一宏会長）・奄美建設業協会瀬戸内支部は17日、大島郡瀬戸内町の高千穂神社等で15年安全祈願祭と第26回労働災害防止大会を開き、会員らが労働災害、交通災害の撲滅を誓った。

今年1年の安全を祈願する会員ら
＝瀬戸内町の高千穂神社で

安全祈願祭には、会員のほか奄美建設業協会、名瀬労働基準監督署、県や町関係者ら約50人が出席。伊東会長が「安全の誓い」を読み上げたあと、伊東会長、川畑義文瀬戸内町助役、大島支庁瀬戸内事務所の池田史和所長、永野勝弘瀬戸内警察署長らが次々と玉串を捧げ、安全と各企業の繁栄を祈願した。

引き続き、同町の瀬戸内建設業会館に場所を移し、労働災害防止大会を開き、災害で亡くなった方々の冥福を祈り全員で黙とうを捧げたあと、伊東会長が「本大会を契機に現場の安全を一層徹底するとともに災害撲滅への決意を新たにした。山崎秀一名瀬労働基準監督署長がいつも話されている危険ゼロを目指し、災害ゼロを達成するという目標を常に念頭に置き、会員一同一致協力して努力したい」と挨拶。また、奄美建設業協会の尾崎健一会長（代理）は「年度末にかけ多忙な時期に入るが、工期のみにとらわれることなく安全第一を心掛けてほしい」と述べ、災害防止の徹底を訴えた。また会のあと金子万寿夫県議による講話も行われた。

大会終了後は、会場を移し懇親会も開き、会員らは杯を交わしお互いの健闘を誓い合っていた。

県自動車車体整備協組25周年式典

時代の変化に対応を

県自動車車体整備協同組合（有村則男理事長）の創立25周年記念式典・祝賀会が去る15日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで開催された。式典では、有村理事長が「運輸支局や上部団体の指導を仰ぎながら今日を迎えることができた。

の年を祝った式典
＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

青年部の活動、ボランティアなど活発な取り組みもあるが、我々は時代に取り残されないよう、常に勉強し、業界発展のため尽力しなければならない」と挨拶。

続いて、丸山憲一日本自動車車体整備協同組合連合会長（代理＝崎本芳雄常務理事）らが祝辞を寄せた後、記念事業の一環として県交通被災者たすけあい協会に交通事故遺児献金が贈呈された。

同協組は昭和52年、協会から組織変更して設立。現在、160人の会員を擁し、会員相互の親睦を図り、業界の発展を目指すことを誓い合った。

タイヨー下荒田店新築祈願祭

建築本体

小牧建設で着工

㈱タイヨー（清川和彦社長）は17日、県内で85店舗目となる「タイヨー下荒田店」新築にあたり、鹿児島市の現地で安全祈願祭を執り行い、発注者や施工者など関係者約25人が参列して、工期内の無事故無災害と完成を祈念した。

力強く鎌を振る清川社長＝鹿児島市の現地で

神事では祝詞奏上に続いて地鎮の儀が行われ、斉鎌を清川社長、斉鍬を設計・監理を担当する㈱アーキ・プランの古川稔社長、斉鍬を施工者を代表して小牧建設㈱の小牧隆社長がそれぞれ力強く行ったほか、関係者が神前に玉串を捧げて、安全施工と工期内完成を祈った。

つつがなく神事が終了した後、清川社長が「施工業者それぞれがチームワーク良く、また事故を起こすことなく地域住民に愛される素晴らしい施設を造って頂きたい」と挨拶。また、小牧社長も「近隣は保育園や閑静な住宅街ということもあり、細かな点に配慮して安全施工に心掛けます」と意気込みを語った。

施工場所は同市下荒田2丁目49－4外1筆。2462・76平方㍍の敷地にS造2階建延べ1763・98平方㍍の店舗を新築する。工期は約4カ月間を予定している。

施工業者は次の通り。

建築本体＝小牧建設㈱▽電気設備＝新日電設㈱▽給排水・空調設備＝新生冷熱工業㈱▽冷凍冷蔵設備＝㈱カナヤ▽昇降機